

SOGI研究会

代表者：先端総合学術研究科一貫制博士課程5回生 OUYANG Shanshan 指導教員：立岩真也先生

研究会の紹介

SOGI (Sexual Orientation and Gender Identity) とは、性的指向とジェンダー・アイデンティティのことを意味する。本研究会はSOGIの視点で幅広い課題を検討することを目指している。研究会は2019年に立ち上げ、これまでの読書会や勉強会では、ジュディス・バトラーの『ジェンダー・トラブル』やイヴ・セジウィックの『男同士の絆—イギリス文学とホモソーシャルな欲望—』などを読んできた。また、年に1度に外部の先生をお招きし、嗜虐的性向 (BDSM)、HIV/AIDS、クィア神学、東アジアのLGBT運動などテーマについて学習し、メンバー各自の研究との接点を探し、議論を深めてきた。

2022年度研究会は5年目になり、今年のごめは、クィア・アクティビティにおいて、SOGIはどのように表象されているのかという課題を中心に、クィア理論、メディア分析、ディスアビリティ・スタディーズ、地域研究など多様な分野から考察することである。

過去の活動

立命館大学先端総合学術研究科2019年度SOGI研究会企画
2020年2月26日(水)14時~17時
立命館大学衣笠キャンパス 創思館401・402

ケア・BDSM・親密性

講師：小西真理子氏(大阪大学)



親密な関係を求める事がない人や、「普通」ではない性的嗜好を持つ人を、病弱や異常者としてみなす傾向は主に日本社会には存在する。だが逆にセクシュアリティが生産的意志だけのものだった時代はさく裂されているといえる。日本社会において「常識」は常に存在し、それの意味を付加していくために、性科学や精神分析が輸入され変質していったと云ってもよい(『愛憎性論』)。そうした文脈から、一部では肉體よりも精神を重視するロジックも生まれ、痛麻トックスや責任者方公共的空間を共有していく状況には、「肉體同士が愛し合っているはずない」という「愛」やコミュニケーションにもとづいた関係性重視の傾向も現れてくる。「性欲とは異なる性」としてのセクシュアリティが、人種やアイデンティティの中心にある人間の要求のハリエーションの一つとして出てくる事も。するど「正常」なセクシュアリティから排除したものは性的カラスムや性的偏見で対象として、烙印が捺されてしまったという状況も作り出される。そこから、「正常」とされるセクシュアリティに付随している性規範を、ケア、性的嗜好における嗜虐的性向 (BDSM)、親密性を中心に批判的に検討していく必要が生じる。として、BDSMを事例に小西氏と対峙しながら報告した。議論していく事にしたい。

・小西先生の講義の際、開講した院生発表やディスカッションを行います。
・小西先生の講義についてはご遠慮である「拝聴の論議」(2017年、見学滞りに事前にお目録したたく、より理解が深まるかと思ます。
・事務局の作業等はすべて、途中入室退席自由

立命館大学先端総合学術研究科2020年度院生プロジェクト
SOGI研究会公開研究会

性・アート・リレーションシップ

2021年2月13日(土)14時~17時
オンラインでの開催

講師：竹田恵子氏
(お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所)

「生きられる「アート」[S/N]・アイデンティティ・コミュニティ」



ご講演の際、開講した院生発表やディスカッションを行います。
*事前申し込みは院生発表のみの遠慮である「拝聴の論議」(2017年)「パフォーマンス・アート」[S/N]と「アイデンティティ」(2020年)ナカニヤと関係にお目録したたく、より理解が深まるかと思ます。
*事務局申込、途中入室退席自由。[https://forms.gle/WsJxvJbn899wT9NA8r]

今後の予定

★読書会

クィア・アクティビティに関する文献・論文の輪読を行うことを活動の基本とする。その場、担当メンバーがレジюмеを作って発表する。1月に1回開催。

講読文献の例：


- *菅野優香編, 2021, 『クィア・シネマ・スタディーズ』晃洋書房.
- *Elahe Haschemi Yekani, Eveline Kilian and Beatrice Michaelis, eds., 2013, *Queer Futures: Reconsidering Ethics, Activism, and the Political*. Routledge.
- *Hongwei Bao, 2020, *Queer China: Lesbian and Gay Literature and Visual Culture under Postsocialism*. Routledge.
- *Hongwei Bao, 2021, *Queer Media in China*. Routledge.

★講演会

読書会で検討したテキストの著者、海外の研究者を招きして、「クィア・アクティビズムとメディア」をテーマにして、公開研究会を行う予定がある。

立命館大学先端総合学術研究科2021年度院生プロジェクト

SOGI研究会 公開研究会
2022年2月13日 13:00-16:00(12:30開場)
ZOOM開催
※事前申込アリマス
事前申込はこちらからどうぞ→



●講師:羽生有希
(国際基督教大学ジェンダー研究センター研究員)
発表テーマ:「フェミニスト現象学の継承としての『ジェンダー・トラブル』」

●研究会メンバー発表: 森祐香里
(立命館大学院文学研究科日本文学専修修士後期課程)
発表テーマ:「(肉)を思考する場としての文学—第二次世界大戦直後日本における肉體文学研究から」

概要
これまでのバトラーの議論を参照しつつ、バトラーの議論を踏まえにフェミニスト現象学や文学分析との結びつけに焦点を当てて議論する。そして、バトラーのみならず、哲学的フェミニズムの可能性、日本文学の新たな読みとしての足がかりを提供し、皆さまと議論ができればと考えている。

お問合せは gr0371ri@ed.ritsumei.ac.jp まで

立命館大学先端総合学術研究科
2021年度 院生プロジェクト
SOGI研究会公開研究会


「バトラー・身体・政治」

2022年2月25日(金) zoom開催
14:00-16:00 (13:40開場)

【講師】五十嵐舞 (新潟県立大学専任講師)

【概要】
ジュディス・バトラーの『ジェンダー・トラブル』は1990年に出版されたが、今もなお、議論を巻き起こし、クィア理論に限らずさまざまな分野に影響を及ぼし続けている。今回1911以降のアメリカ社会問題をバトラー議論に結びつけ、みなさまと議論をしたい。

【お申し込み方法】
事前申込みあり 下記QRコードより申し込みください



お問合せ先: gr0371ri@ed.ritsumei.ac.jp

研究会の参加にご関心のある方：gr0371ri@ed.ritsumei.ac.jp (OUYANG)

先端研院生プロジェクト2022スタートアップ報告会